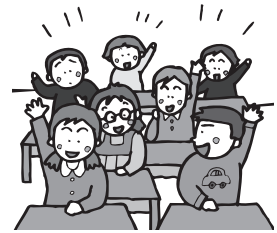


# I-3 指名の仕方

## 先生、みんなの前で発言すると楽しい！

### ☆ 子どものやる気の出る指名をする。

- 顔を見て名前を呼びましょう。
  - ・ 「はい、次」と言われるより、「はい、〇〇さん」と指名された方が、子どもは温かな気持ちになり、学習への意欲が高まります。
- 同じ子どもばかり指名することのないように気を付け、指名してほしいという子どもの気持ちを大切にしましょう。
  - ・ 指名されて発言することで、子どもは授業に参加する楽しさを感じます。



### ☆ 目的に合わせて、工夫した指名をする。

#### ○ 全員で反復練習する時（ドリル・発声練習など）

- ・ 基礎・基本の定着を図ることができるように、全員に発言の機会を設ける。
- ・ 最初に指名の順番を伝え、一人ずつ指名する間を省くことで、授業にリズムが生まれるようにする。

#### ○ 経験や感想を話し合う時

- ・ 自分なりの意見や考えを発言すればよいことを伝え、挙手しやすい雰囲気を作る。  
「思ったことをみんなに話してみよう。」「間違いなんてないんだよ。」
- ・ 易しいことから、少しずつ難しいことに深めていく。

#### ○ 学級の考えを深めていく時

- ・ 指名の順番を考えるために、ノート指導や机間指導を通して、あらかじめ子どもの考えを把握しておく。
- ・ 学習のねらいに迫る考えやその子なりの頑張りを認め、意図的に指名する。  
「あの考えを書いていた〇〇さんを指名しよう。」「あのつぶやきを取り上げよう。」

#### ○ 発表が苦手な子どもに自信をもたせたい時

- ・ 読む部分や指名する順番などを伝えて、見通しをもたせる。
- ・ モデルを示した後に指名するなど、発表しやすい環境を整える。

### 子どもの呼び方は公平に！

子どもの名前を呼ぶ時には、子どもが呼ばれ方の違いに不公平感を感じないように配慮することが大切です。呼び方に差をつけると、「先生に嫌われているのかな？」「〇〇さんは、ひいきされているの？」など、誤解の元になります。

わん！ポイント！

